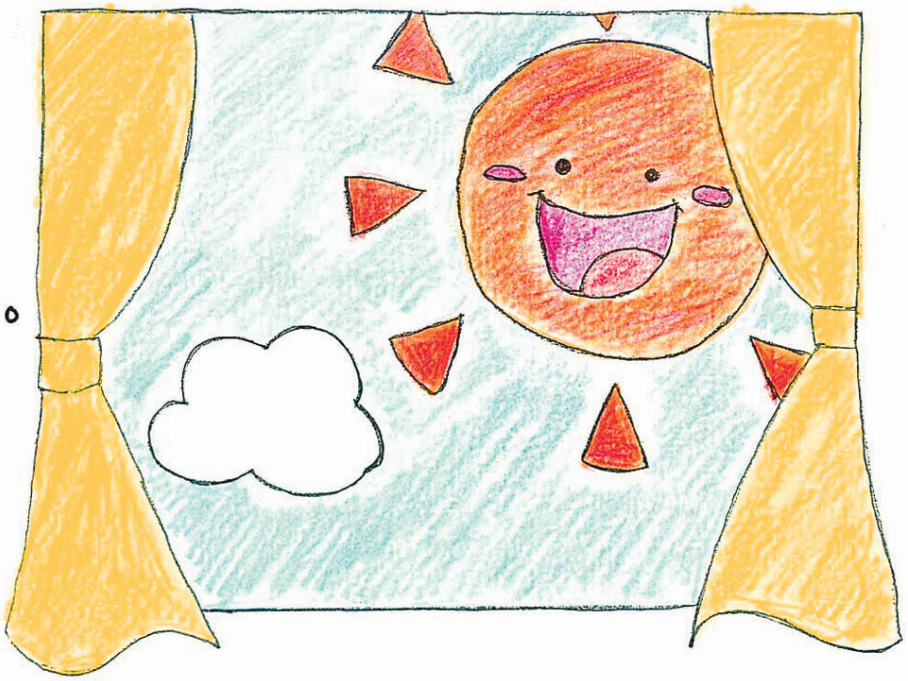
できるもん!!

～おくすりマン と こびとさん の おはなし♪～



＿＿＿＿＿＿は

にゅういん　しています。





「　たいようさん　こんにちは。

きょうは　おねえさんが

あそびにくるんだ。　」

＿＿＿＿＿＿は　わくわく　しています。

「＿＿＿＿＿＿　こんにちは。

おねえさんと　いっしょに　あそぼうよ！！　」

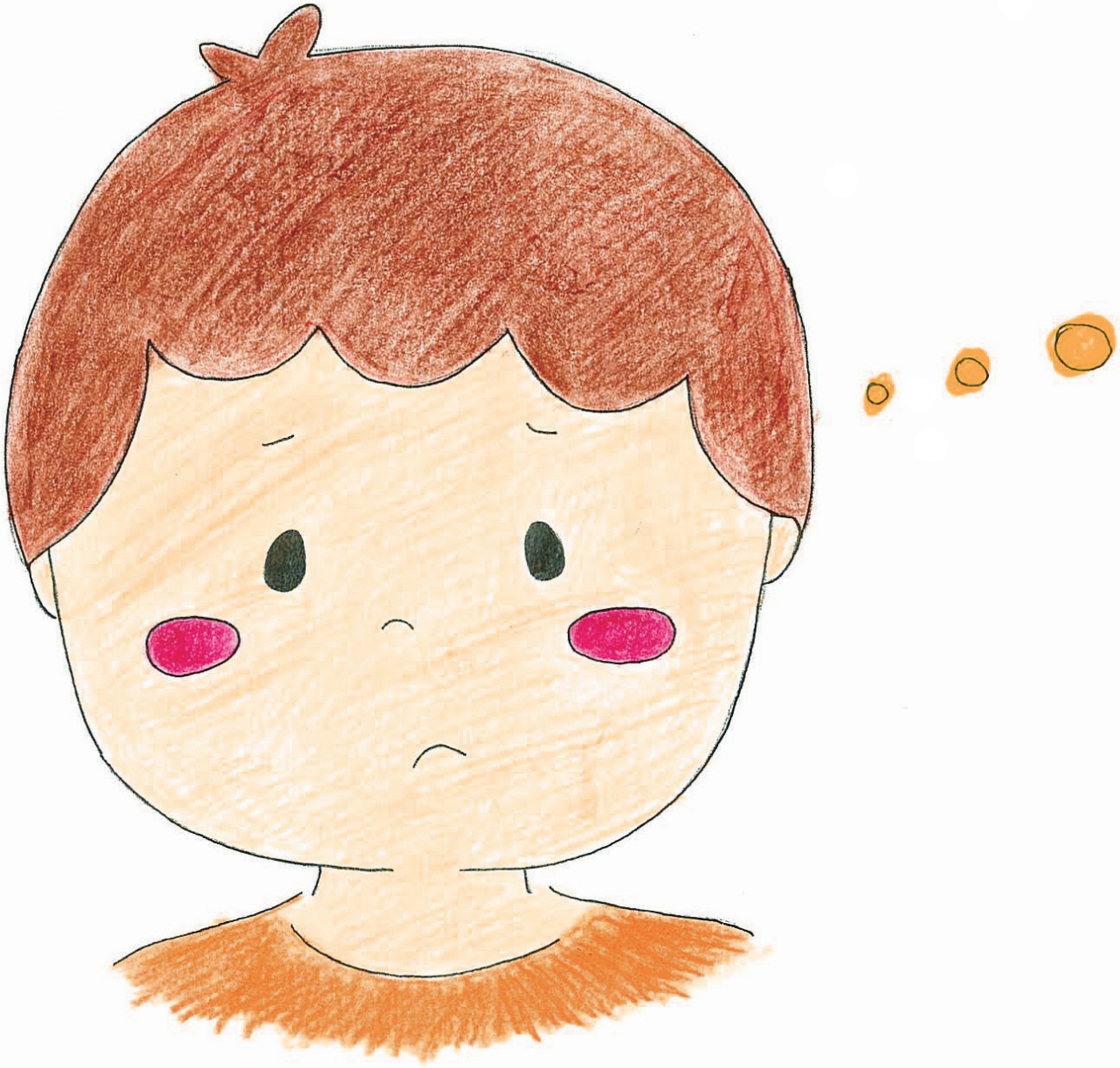
＿＿＿＿＿＿と　おねえさんは

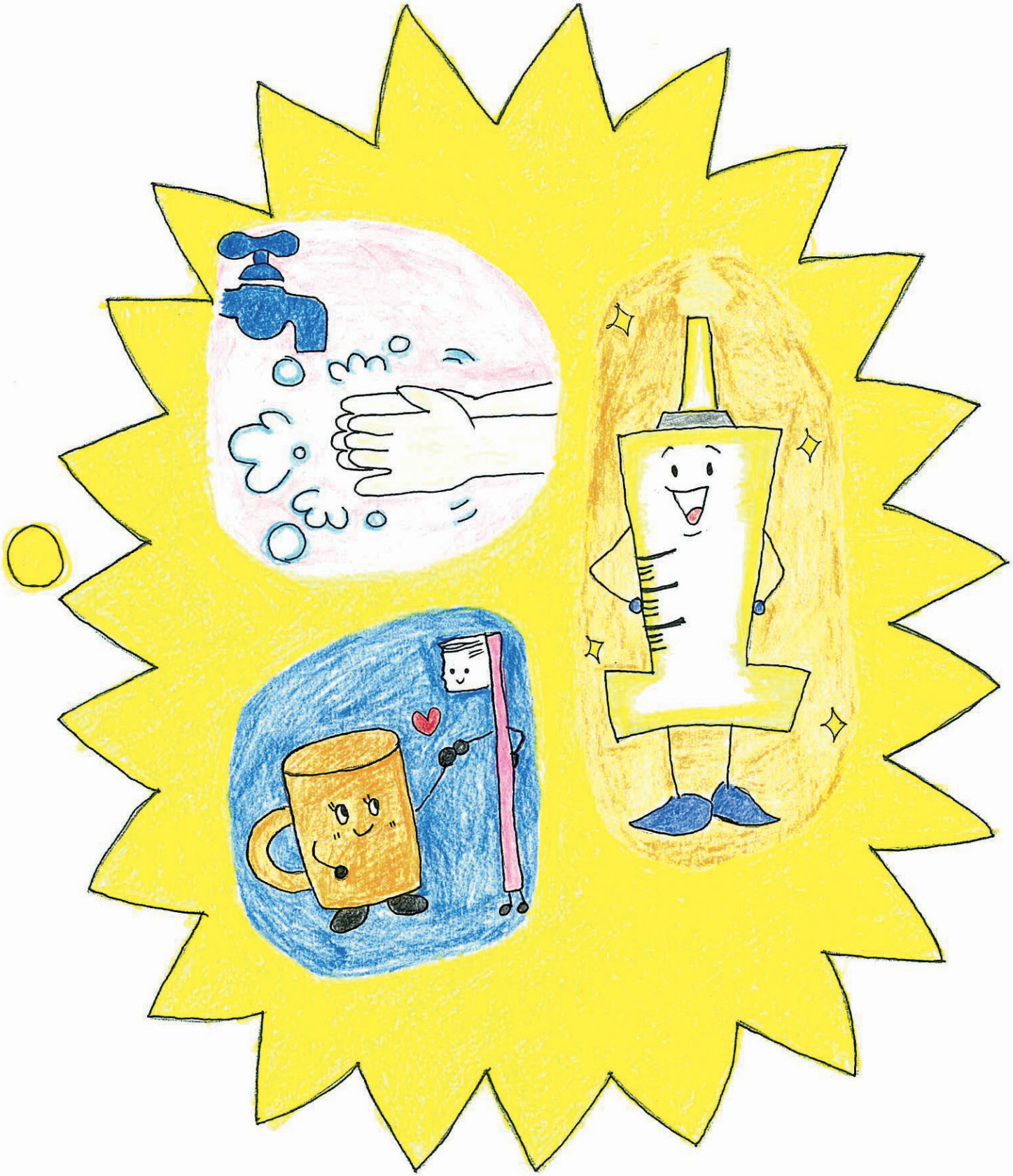
たくさん　あそんでいます。



「＿＿＿＿＿は　いやなこと　こわいこと　あるのかな？　」

「　えっと　・・・・・　」





たくさん　あそんで　つかれた　＿＿＿＿＿＿は

ねて　しまいました。

そして

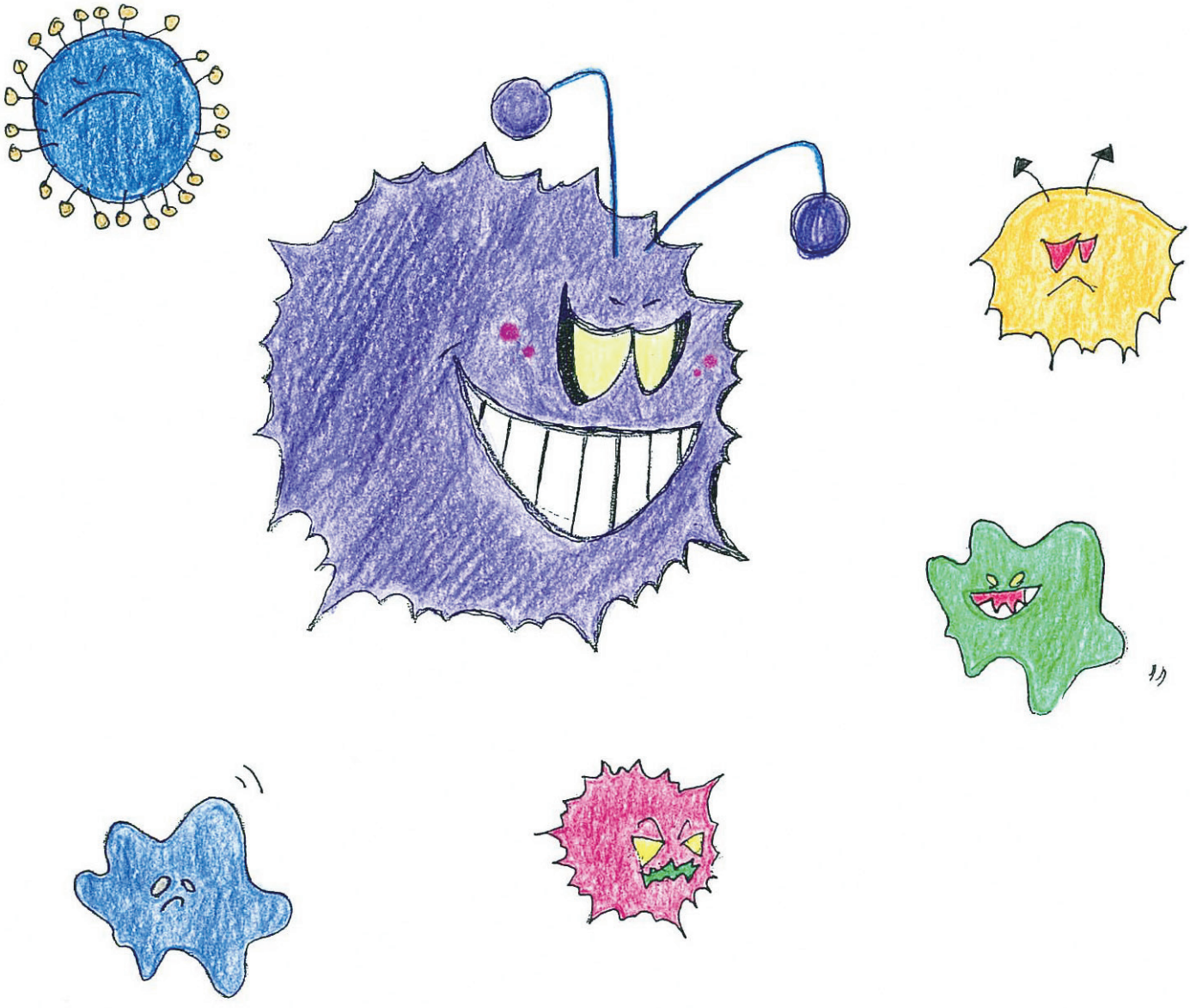
＿＿＿＿＿＿は　ふしぎな　ゆめを　みました。





「　えい！　えい！　やあー！！　」

「　おれは　わるい　バイキンだ！　」

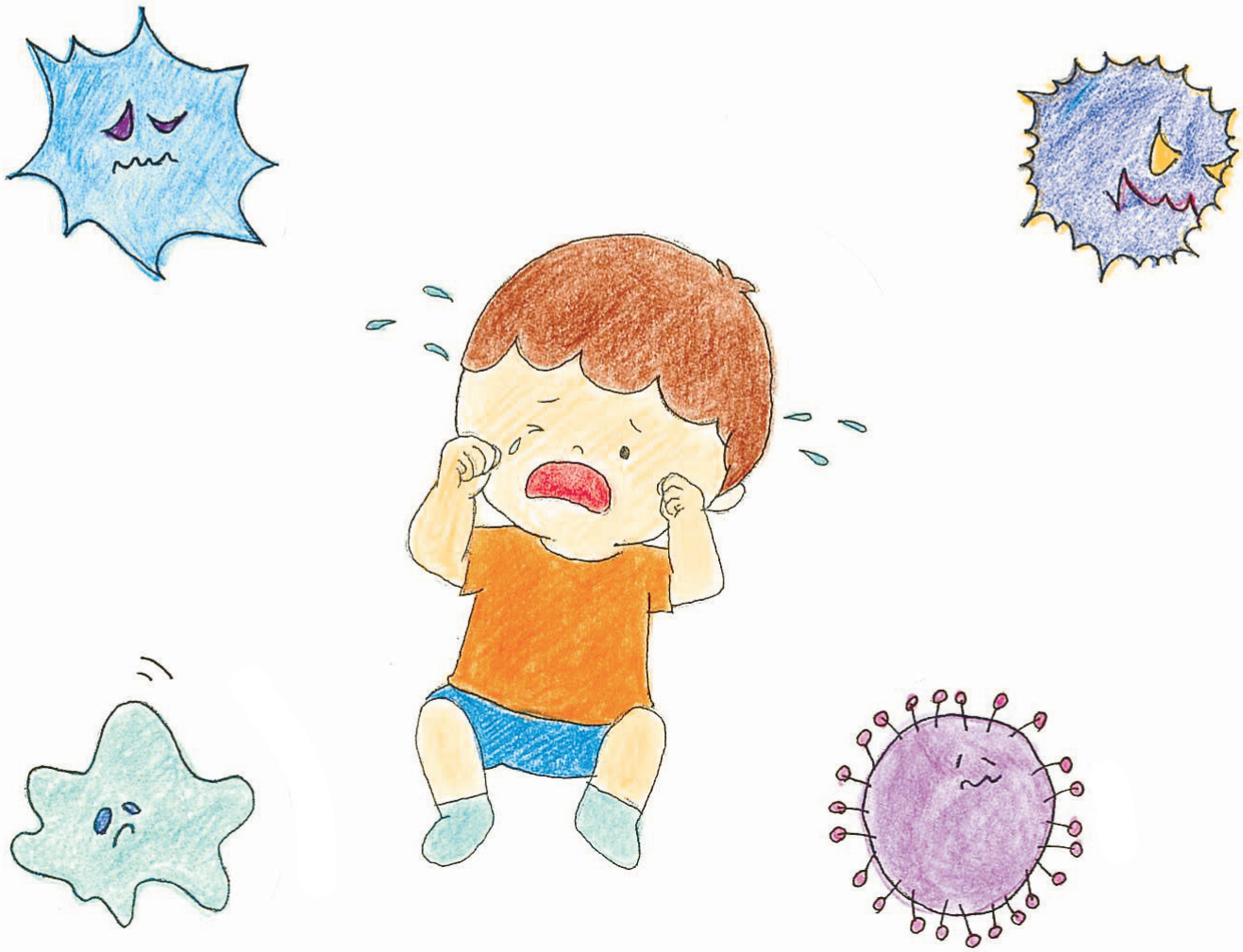


＿＿＿＿＿＿の　ところに　とつぜん

バイキンが　おそいかかって　きました。

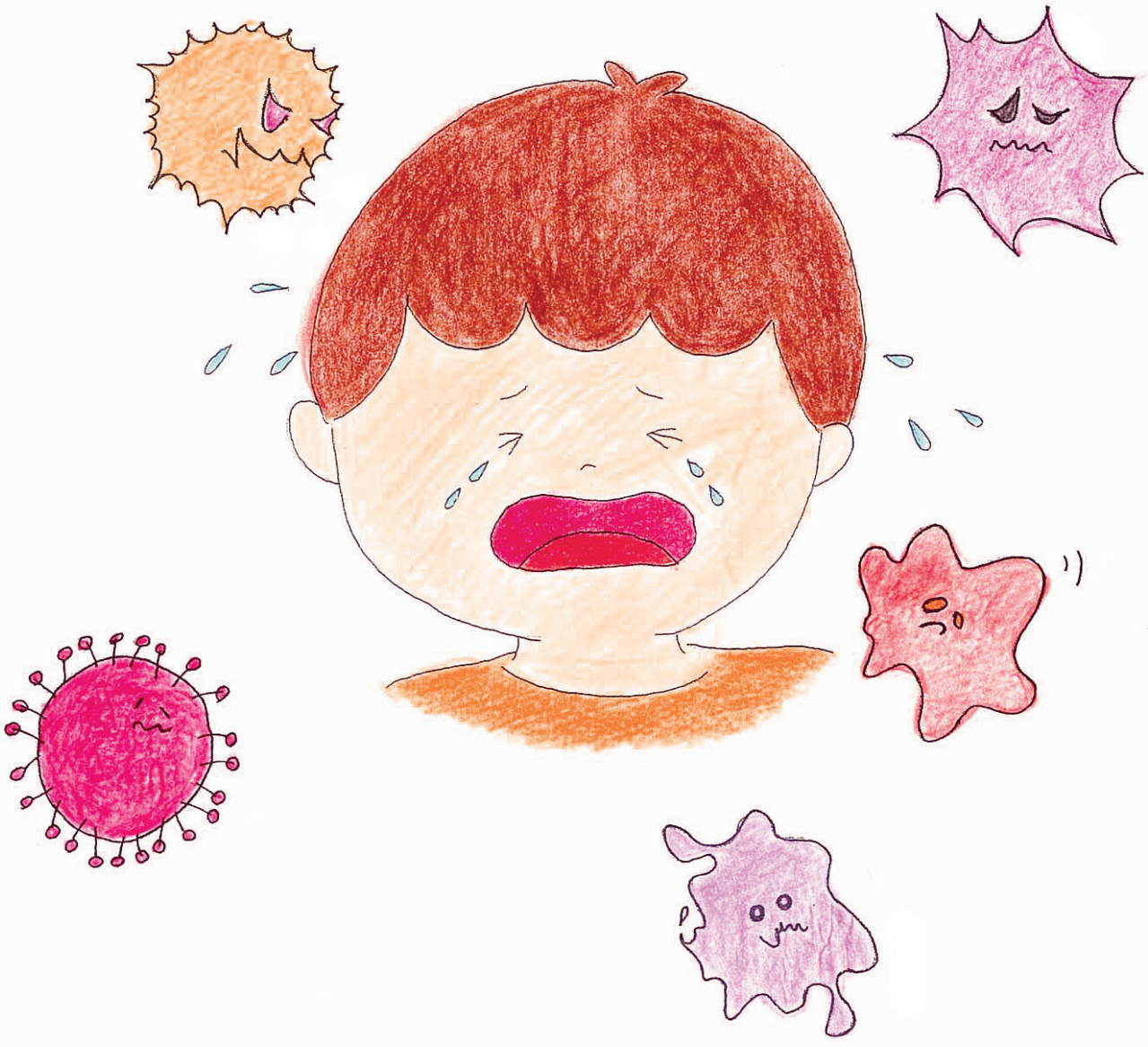
「　わあー！！　こわいよー！

だれか　たすけてー！！　」



「＿＿＿＿＿＿大丈夫かい？」

「きみは　だれ？」



「ぼくは おくすりマンさ！

きみを たすけに きたよ！」

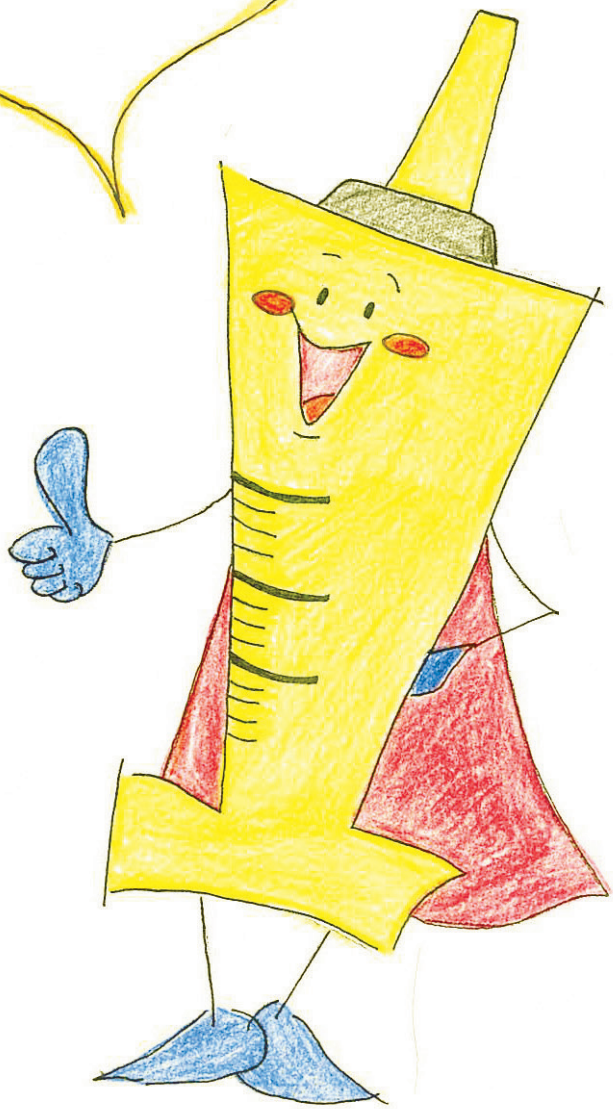
「きみが ぼくを ゴックン！すれば

バイキンを たおすことが できるんだ。

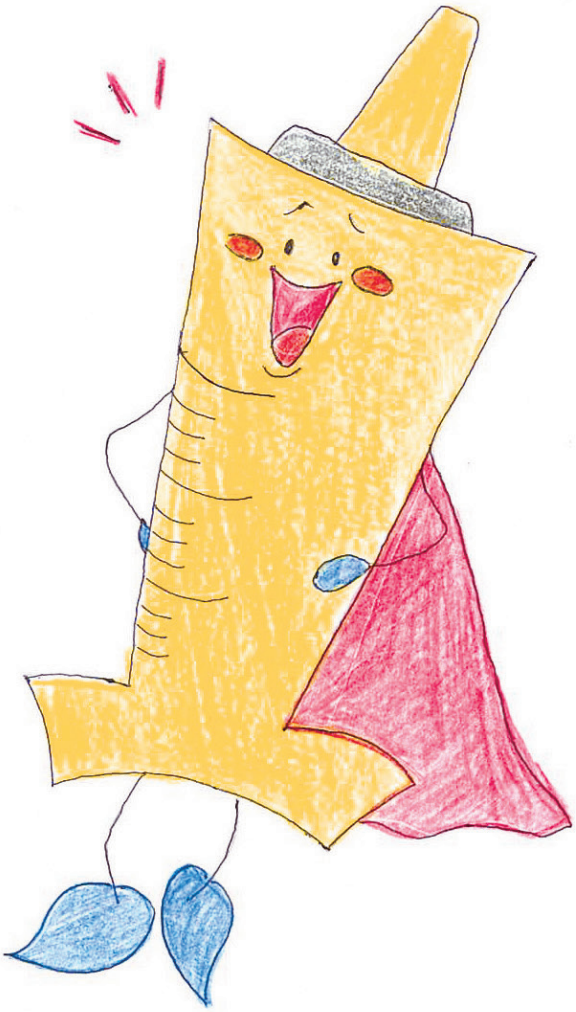
それとね

バイキンが よって こないような

バリアも つくることが できるんだよ。」







「　でも・・

きみは　こわそうだし　おいしくなさそう。

ぼく　できないよ・・・。　」

「　そうだよね。

たしかに　ぼくは　こわいし　おいしくないけど

あの　バイキンから　きみを　まもっているんだ！

だから　こわがらずに　ゴックンしよう！

ぼくは　＿＿＿＿＿＿の　みかただよ。」



「そうか！　ぼくを　まもってくれて　いるんだね。

うん！がんばる！」



＿＿＿＿＿は　ゆうきをだして

おくすりマンを　のみました。



すると・・・・・・・

「　おくすりマンを　のんだおかげで

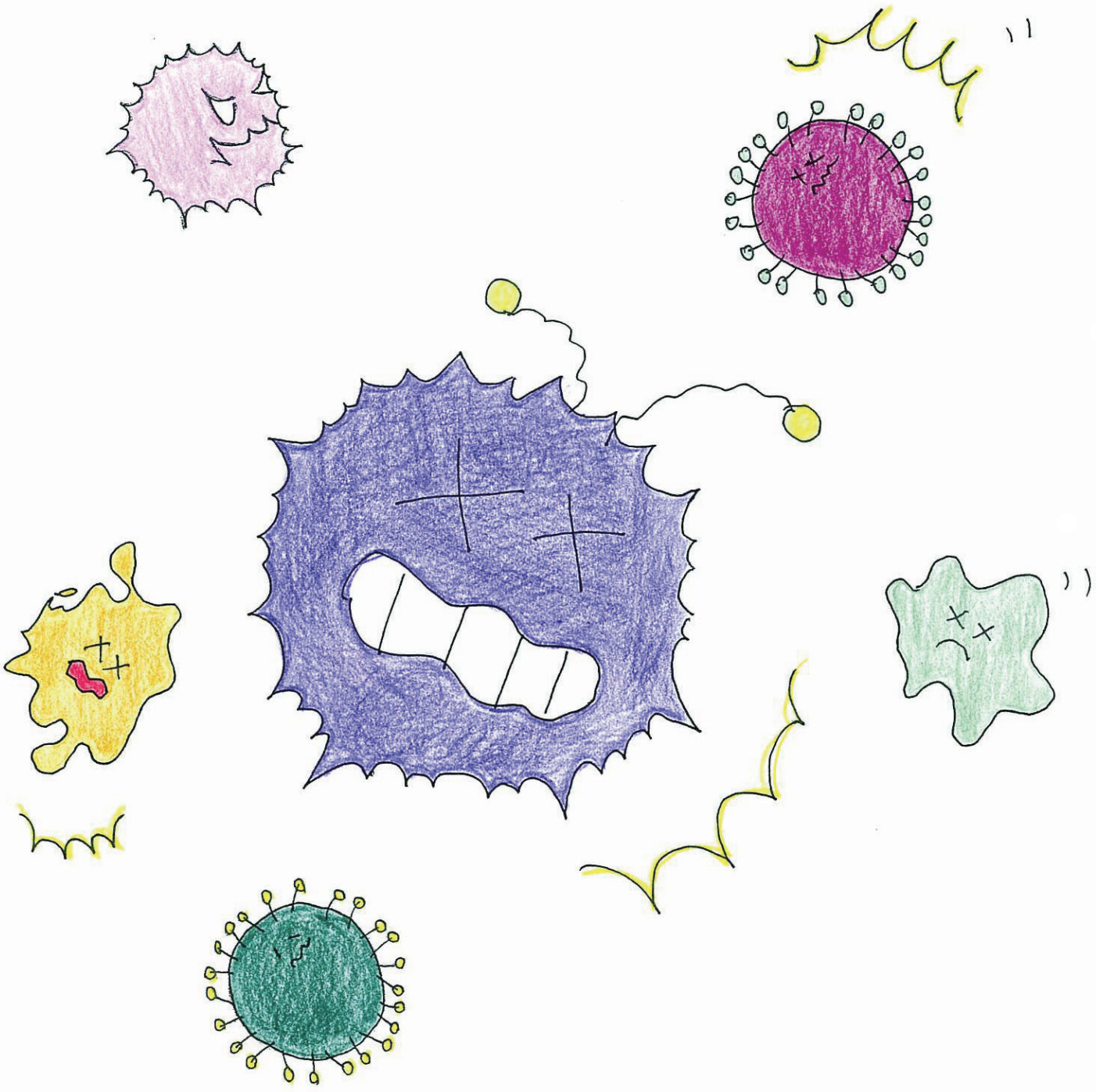
なんだか　ちからが　でてきた！



もう！

バイキンに　まけないぞっ！

えーい！　」



＿＿＿＿＿＿は　バイキンを

やつけることが　できました。



「＿＿＿＿＿＿　よくできたね！　がんばったね！

きょうから　きみも　ヒーローだ！！」

「また　こわくなったら　おくすりマンを　おもいだすね。

ありがとう！！　おくすりマン！」



＿＿＿＿＿＿の　ごはんの　じかんです。

「　やったー！　ごはんだ！　いっただきまぁーす！！」

「　ちょっとまったー！！　食べちゃだめっ！」





もぞもぞ・・・　もぞもぞ・・・・

すると　ふとんの　なかから

たくさんの　こびとさんが　あいに　きました。



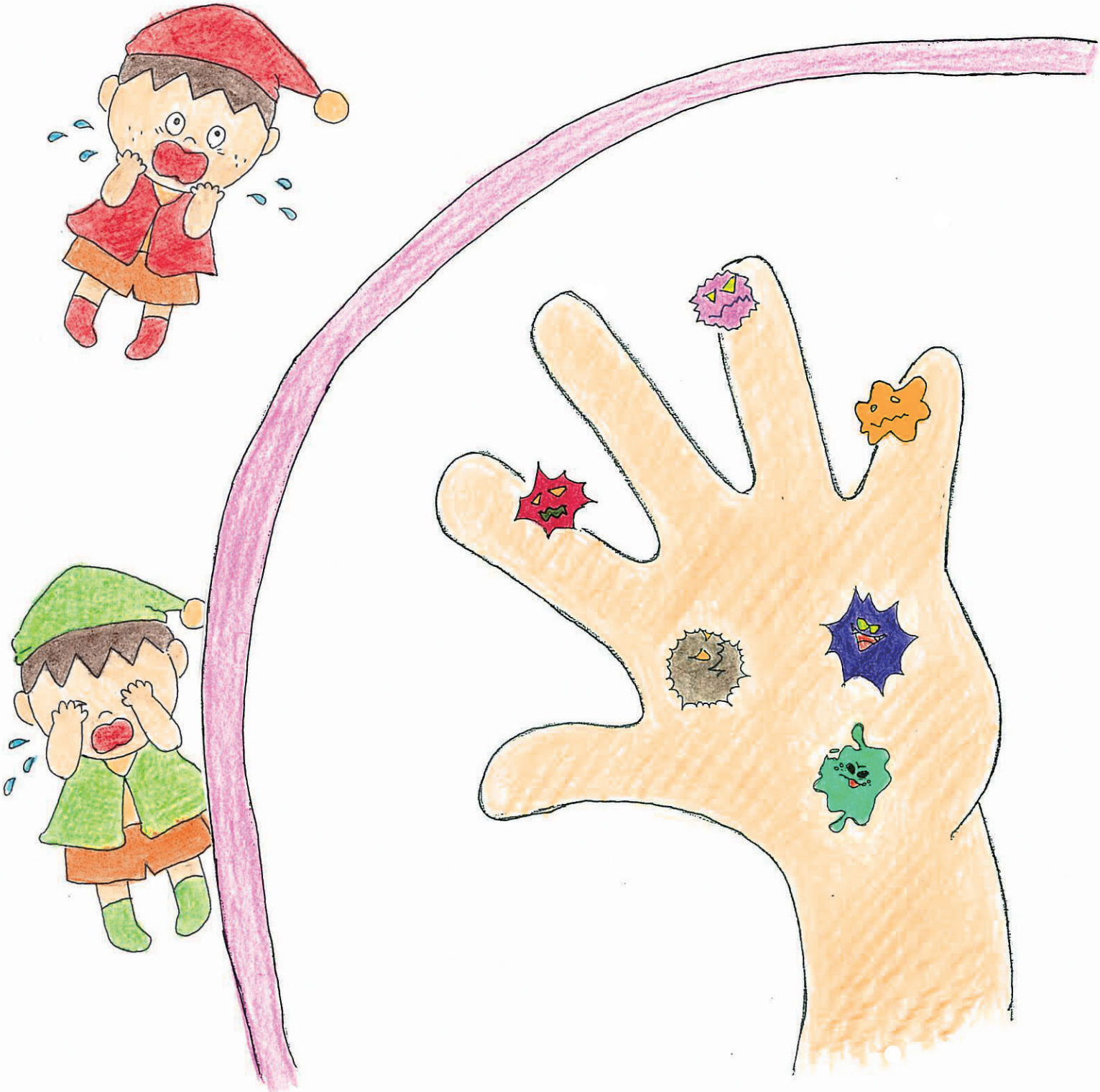
「　このめがねで　てを　みてごらん？　」

＿＿＿＿＿＿が　てを　みると・・・



「　わあああ！　なんだこれー！　きたなーい！」

なんと　ての　なかには　たくさんの　バイキンが　います。

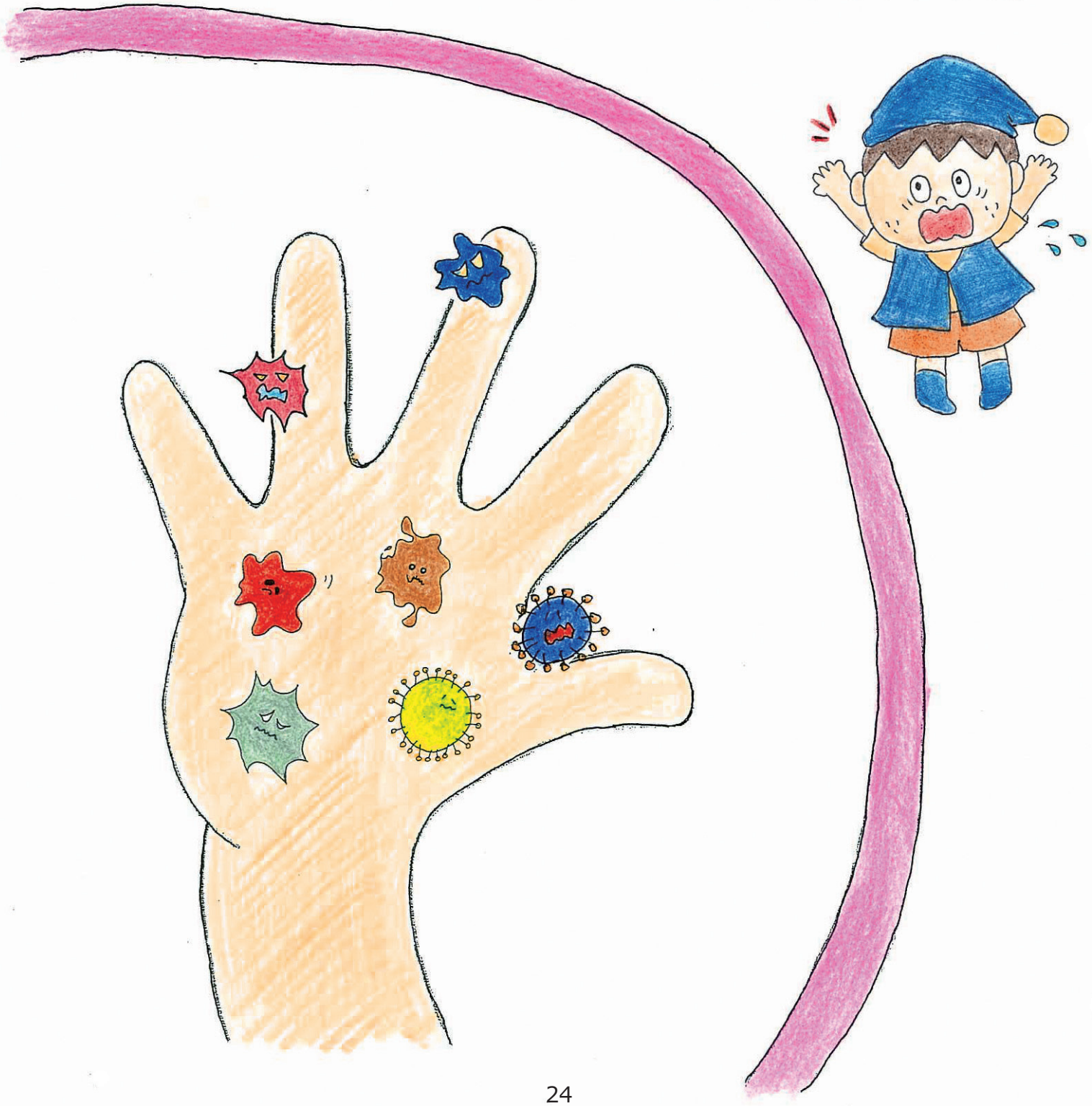


「 よごれた てのまま たべるとね バイキンが

＿＿＿＿＿＿ に わるいことを するんだ。

だから ごはんを たべる まえには

かならず てを あらおうね！！」





「それからね　ゆかや　おちている　ものを　さわったり

トイレに　いった　あとは　てに

たくさんの　バイキンが　いるんだよ。」

「えっ・・そうなの～？」

「だからね　バイキンが　ついている　てで

たべものを　たべると　その　バイキン　たちが

＿＿＿＿＿の　なかに　はいって　しまうんだ。

だから　ゆかを　さわったあとや

トイレに　いったら　ちゃんと　てを　あらおうね。」

「　うん。　わかったー！！

ぼく　ちゃんと　てを　あらうね！　」

＿＿＿＿＿は　いそいで　てを　あらいました。



「モグモグ・・・　モグモグ・・」

ごちそうさまでした。

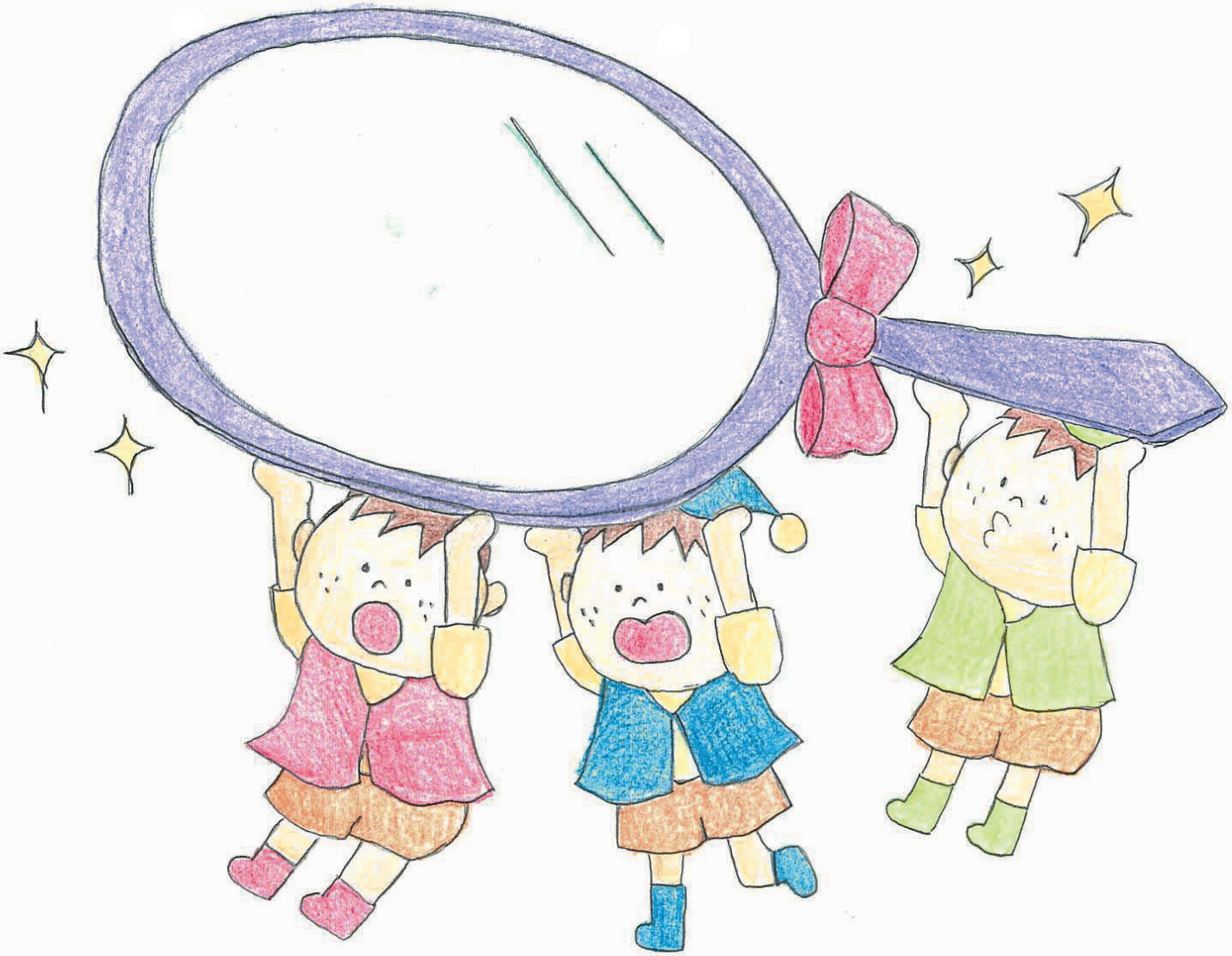


たくさん　たべた　＿＿＿＿＿＿は

おもちゃで　あそんでいます。



こびとたちが　こんどは　かがみを　もって　きました。

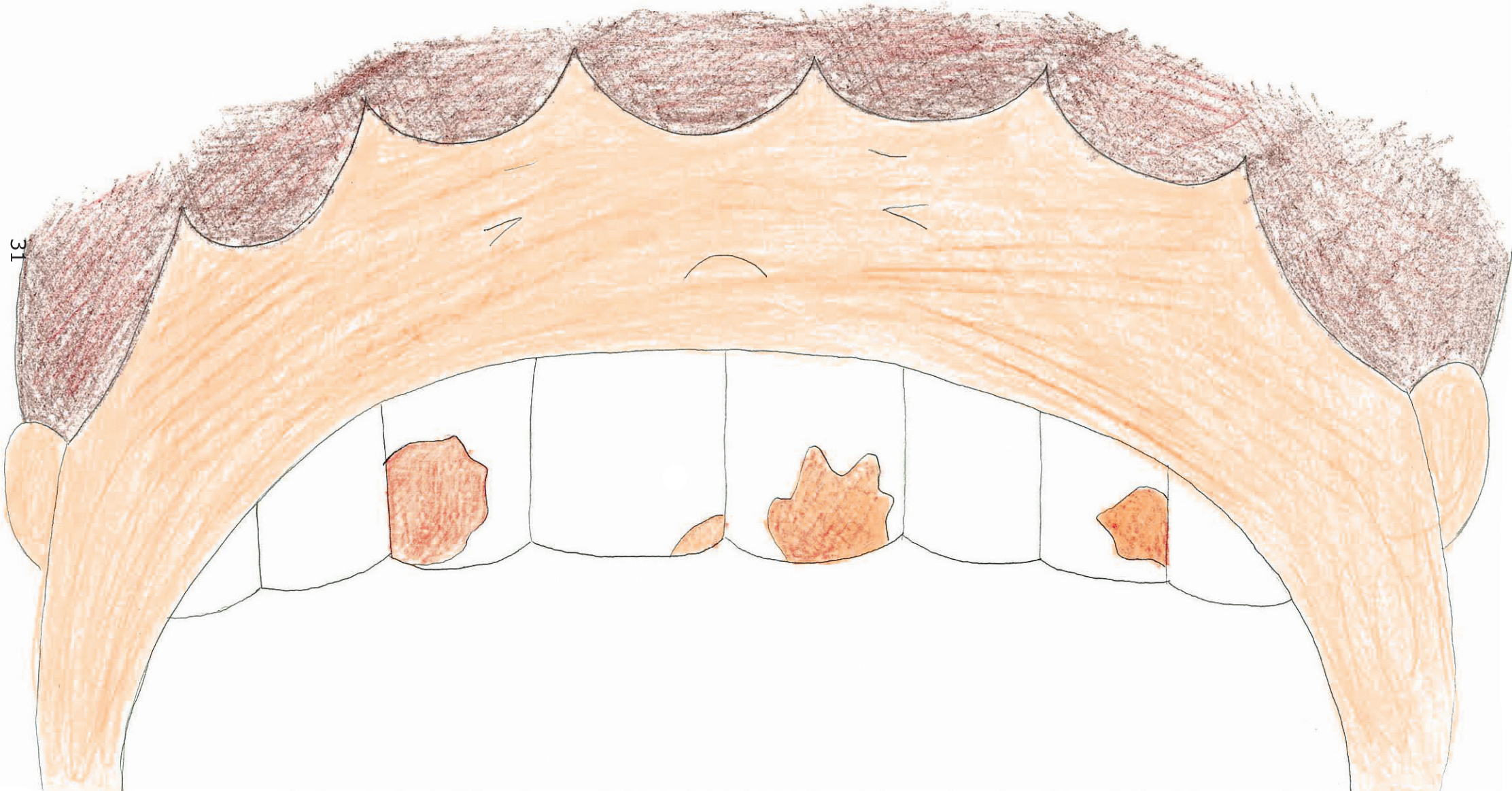


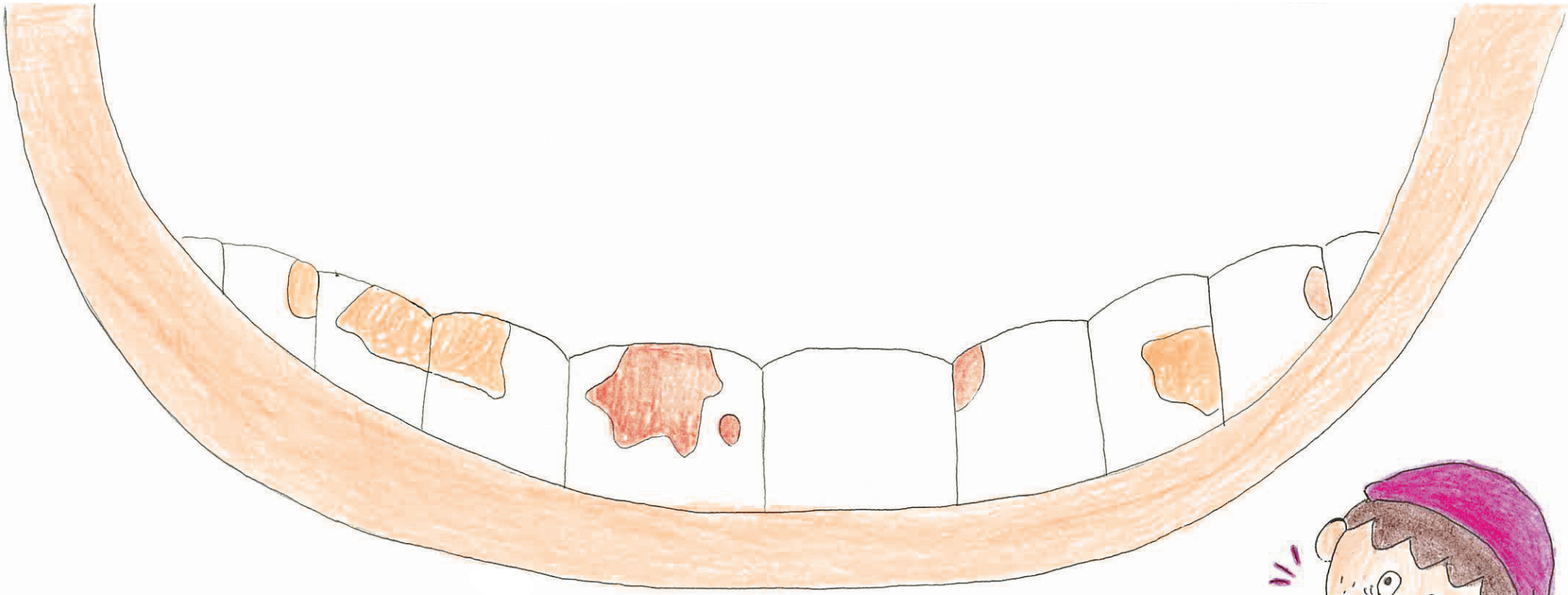
「こびとさん　どうしたの？　ては　もう　あらったよ！」

「ねーね　＿＿＿＿＿＿。

　　この　かがみで　くちの　なかを　みてごらん？」

「きみの　くちの　なかには　たくさんの　たべものの　カスが　あるよね。」







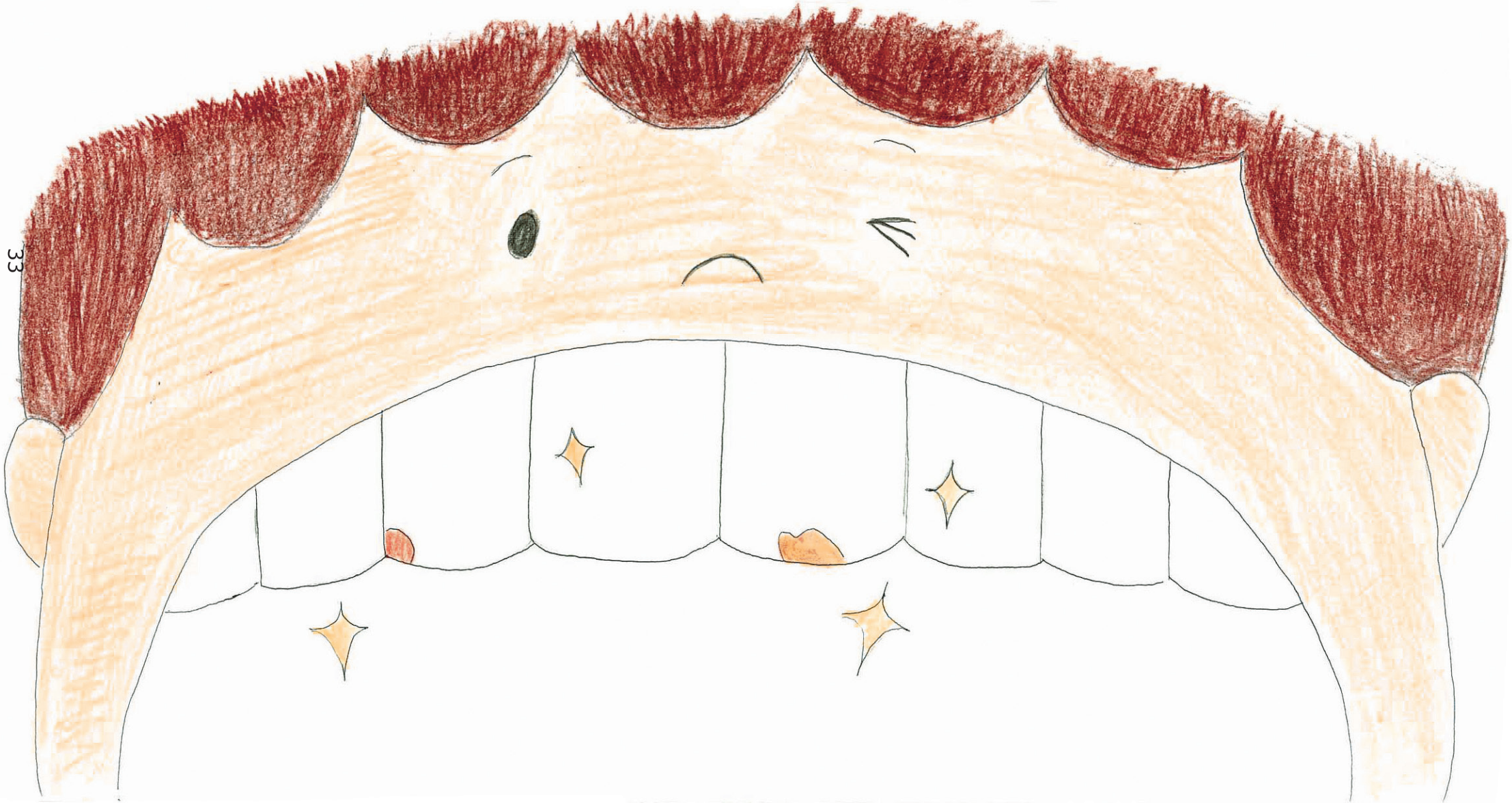
「このままに　しておくと　たべものの　カスが

○○○くんの　はを　いたくして　ムシばに　なっちゃうよ！

だから　ごはんを　たべたら　かならず　はを　みがこうね！！」

「そうだったのか！　ぼく　ちゃんと　ゴシゴシする！」

＿＿＿＿＿＿　いっしょに　はを　みがこう。



「ピカピカ　ピカピカ」

「ピカピカ　ピカピカ」

「ピカピカ　ピカピカ」

＿＿＿＿＿＿は　しっかり

はを　みがくことが　できました。



「＿＿＿＿＿＿　よくできました！

ごはんを　たべなくても　くちの　なかには

たくさんの　バイキンが　いるんだ。」

「ほうっておくと　バイキンが　ふえちゃうんだよ。

だから　はを　まいにち　しっかり　みがこうね！！」



「これからも　てあらいと　はみがきを　わすれないでね！！」

「わかったー。ぼく　がんばる。

ありがとう。こびとさん。」

＿＿＿＿＿は　ハッと　めを　さましました。

「ぼく　ゆめを　みたんだー。」

「＿＿＿＿＿　どんな　ゆめを　みたの？」

「あのね～　きらいだった　ことが　できたんだ！」

「＿＿＿＿＿　すごいね！　きっとできるよ！」

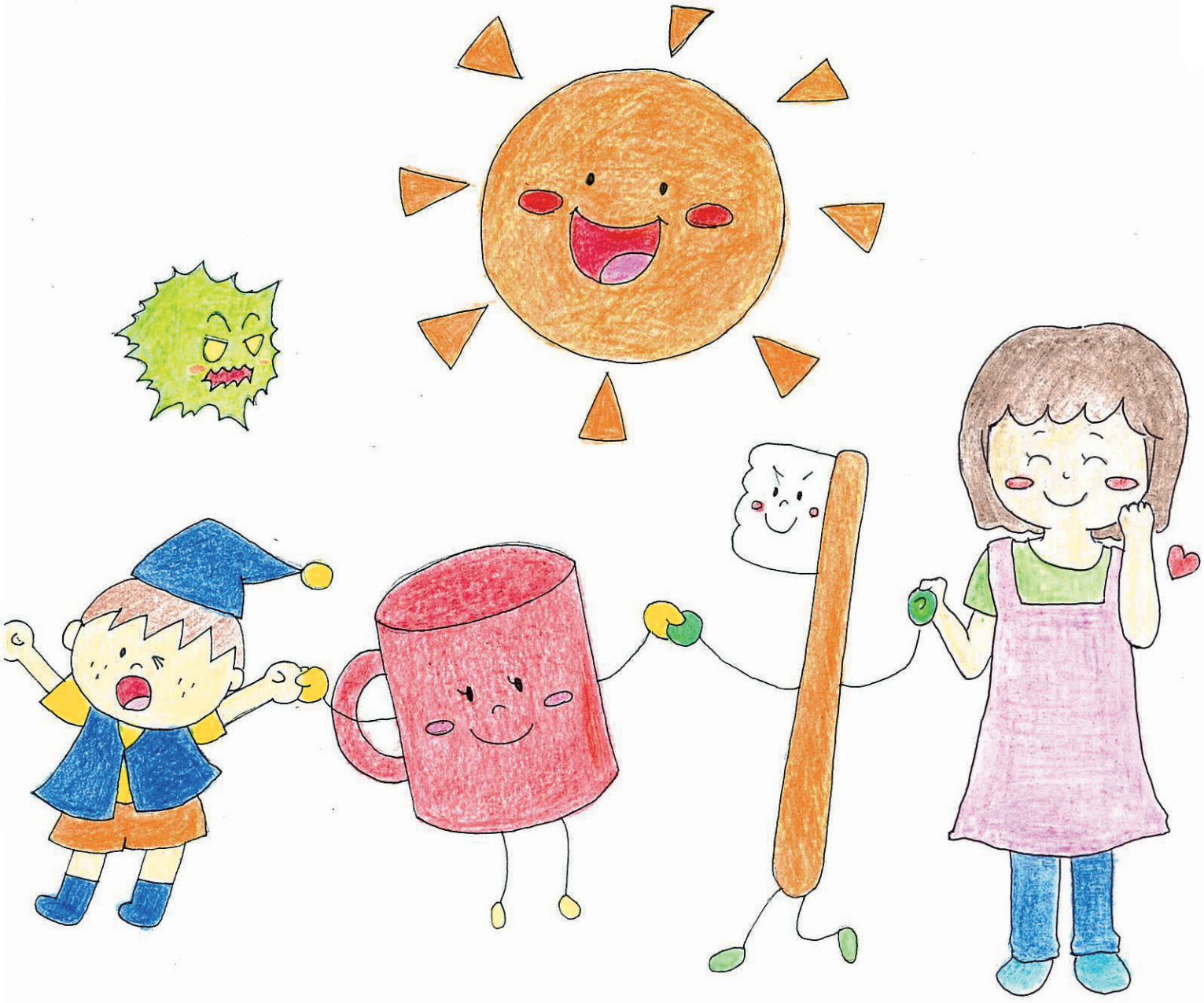


＿＿＿＿＿は

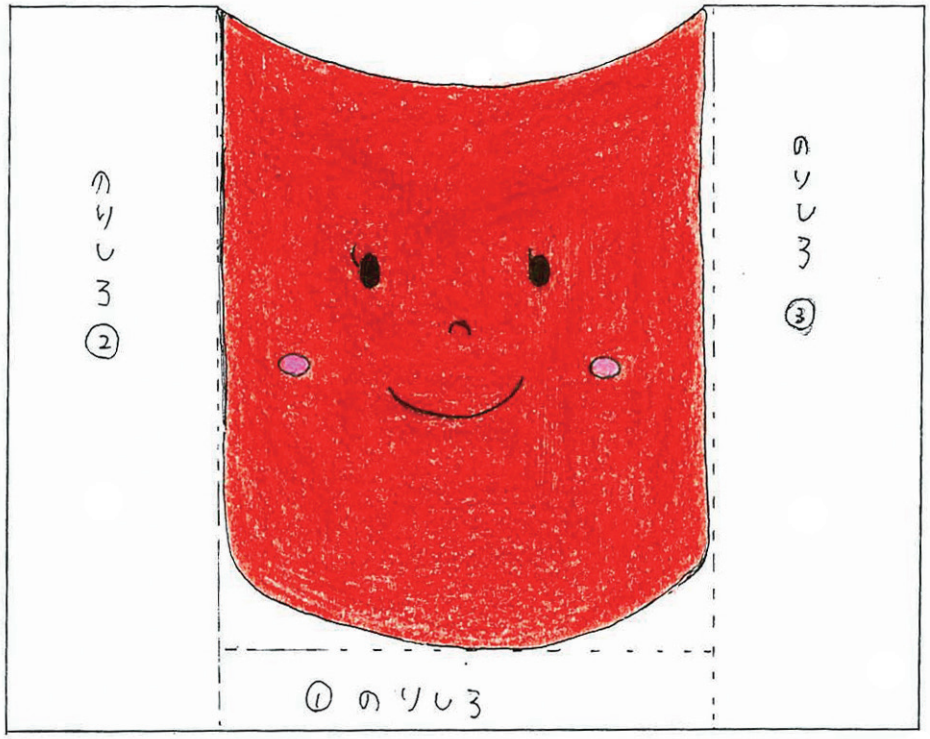
きらいだった　ことが　できるように　なりました。

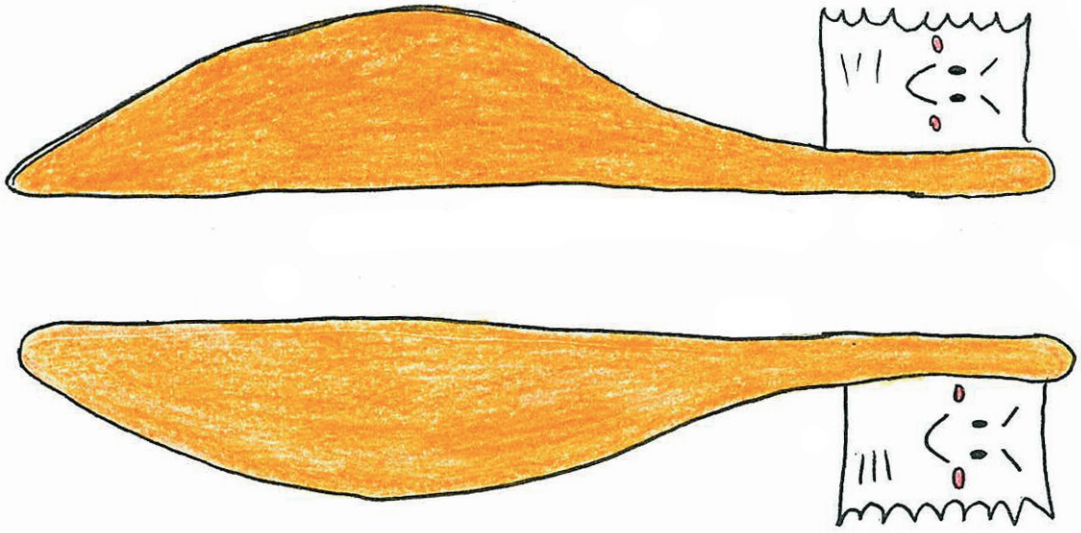
たくさんの　なかまたちが　＿＿＿＿＿を　ほめています。

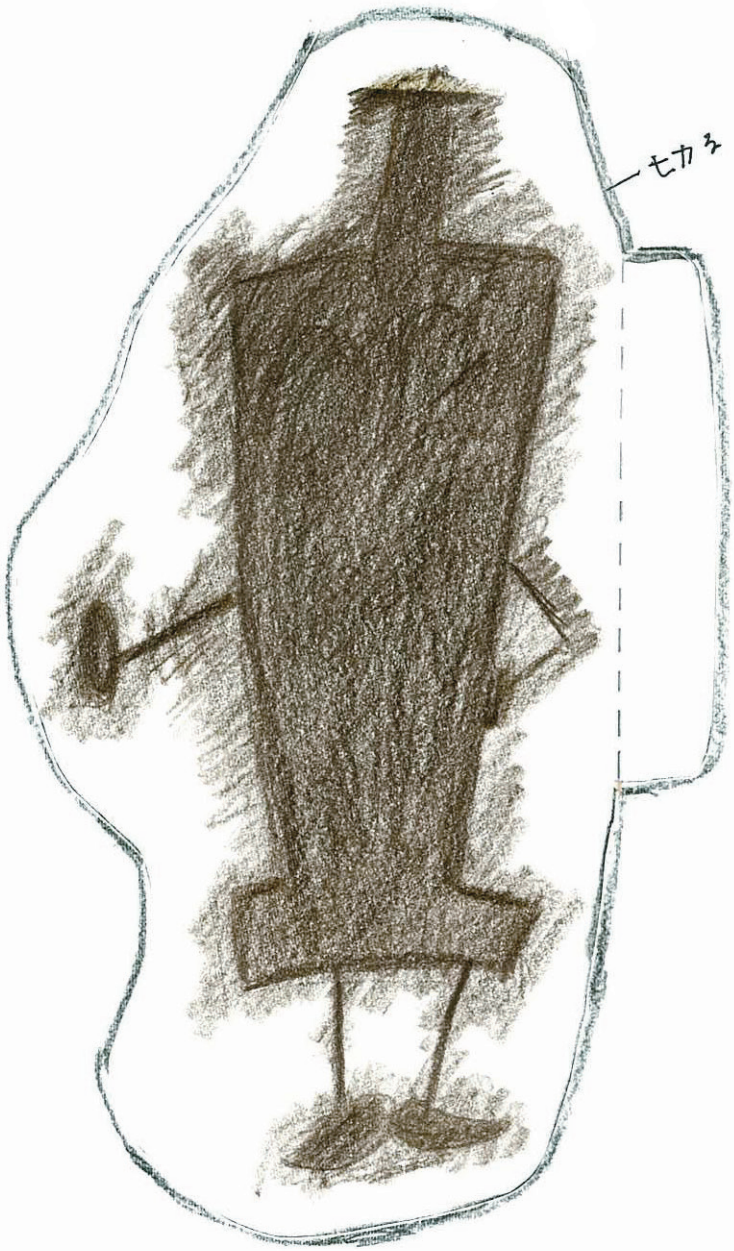
「やったね！　やったね！　わーい！！」



＿＿＿＿＿よくできました！


のりしろ②
のりしろ③
①のりしろ




セカラ

☆制作協力☆

東海大学医学部付属病院6B病棟師長　大村里枝
同病棟スタッフの皆様
東海大学健康科学部看護学科准教授　児玉千代子
東海大学工学部医用生体工学科教授　高原太郎
東海大学医学部専門診療学系画像診断学准教授　丹羽徹

☆印刷・製本☆

東海大学事務部印刷業務課

☆制作☆

東海大学チャレンジセンター病院ボランティアプロジェクト

☆制作責任者☆

小出桃子　大萩亜美　高橋光

発行日　2013年2月15日



★東海大学チャレンジセンター病院ボランティアプロジェクト★

★絵本制作チーム★

東海大の
でかちゃれ
DekaChalle